

相談支援活動の報告 (平成21年度)

平成22年10月4日

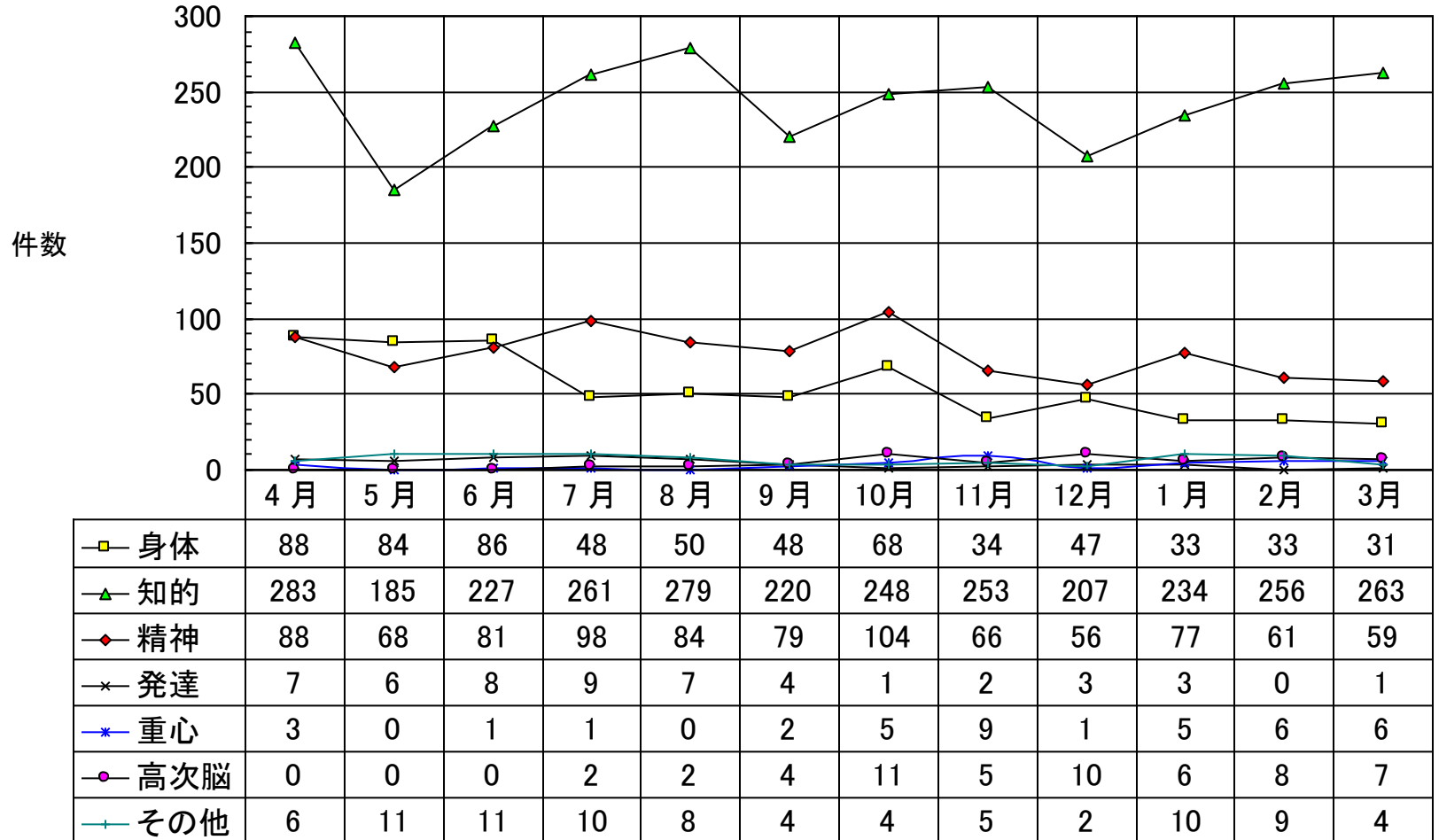
三条市地域自立支援協議会連絡調整会議

目 次

1	相談件数の推移	1 P
2	相談件数の比較	2 P
3	相談内容の傾向	3 P
4	相談内容集計表	4 P
5	平均相談回数（月単位）	6 P
6	児・者の割合	6 P
7	相談支援実利用者数	7 P
8	新規相談者の傾向	8 P

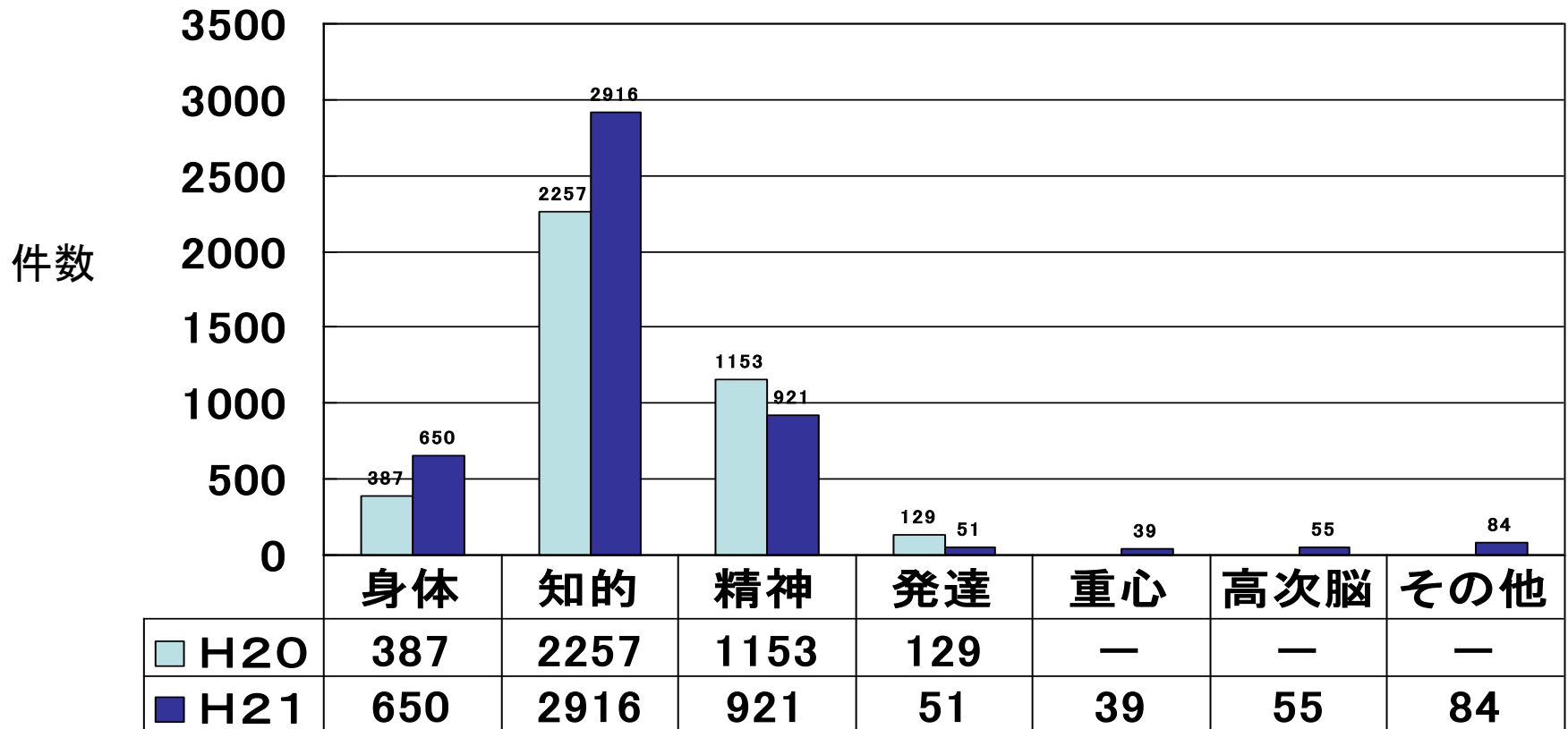
- 相談件数は知的障がい、精神障がい、身体障がいの順に多い傾向にあります。
- 相談件数の最も多い知的障がいは、全体の62%を占めています。
- 発達障がい、重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他は、全体の5%で相談件数は少ない傾向にあります。

1 相談件数の推移



- 相談件数を比較すると、H21はH20に比べ、知的障がい、身体障がいが増加しています。
- 相談件数が最も伸びている知的障がいは、前年比29%の伸びとなります。
- 重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他は、H21より把握の対象としたため、昨年度の件数については、記載がありません。

2 相談件数の比較



3 相談内容の傾向

- 身体障がい 障がい福祉サービスの利用に関する相談が多い傾向にあります。次いで、家族関係・人間関係に関する相談が続きます。
- 知的障がい 障がい福祉サービスの利用に関する相談が多く、全体の41%を占めています。次いで、健康・医療に関する相談が続きます。
- 精神障がい 健康・医療や障がい福祉サービスの利用に関する相談が多い傾向にあります。次いで、生活技術、不安解消・情緒不安定に関する相談が続きます。
- 発達障がい 保育・教育や家族関係、人間関係に関する相談が多い傾向にあります。次いで、障がい福祉サービスの利用に関する相談が続きます。

※重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他は、障がい福祉サービスの利用に関する相談が多い傾向にあります。

各障がい別・内容別の相談件数については、4～5ページに掲載しています。

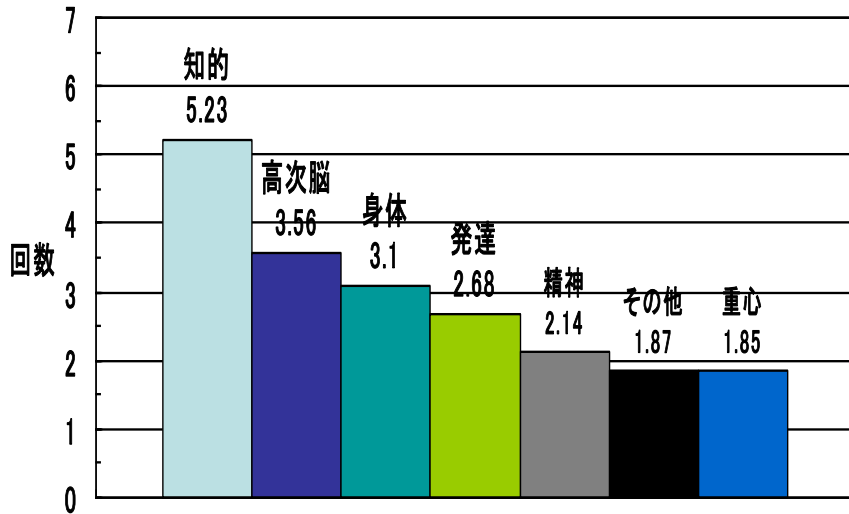
4 相談内容集計表(2-1)

1/2

種 別	件 数					
	福祉サービスの利用等に関する支援	障がいや病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
身 体	286	3	59	52	2	101
知 的	1,211	50	471	113	67	277
精 神	199	50	219	120	1	58
発 達	11	0	0	0	19	18
重 心	23	0	12	0	0	0
高次脳	34	7	10	0	0	2
その他	21	7	10	14	8	3
計	1,785	117	781	299	97	459

種 別	件 数					
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会活動・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
身 体	20	11	32	74	2	8
知 的	257	168	32	50	92	128
精 神	38	134	53	30	1	18
発 達	3	0	0	0	0	0
重 心	0	0	0	0	0	2
高次脳	0	1	0	2	0	1
その他	2	14	2	3	0	0
計	320	328	119	159	95	157

5 平均相談回数(月単位)

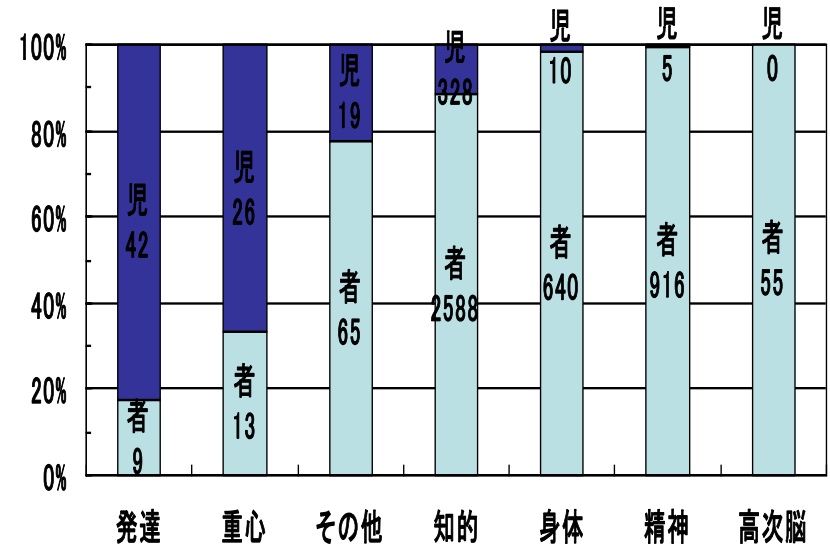


- 平均相談回数の多い順から知的障がい、高次脳機能障がい、身体障がい、発達障がいと続きます。
- 平均回数が最も多い知的障がいは、5.23回で、次に多い高次脳機能障がいの1.85倍になっています。

○ 算出式

$$\text{平均相談回数(月単位)} = \frac{\text{延べ相談件数の合計}}{\text{相談実人員(月単位)の合計}}$$

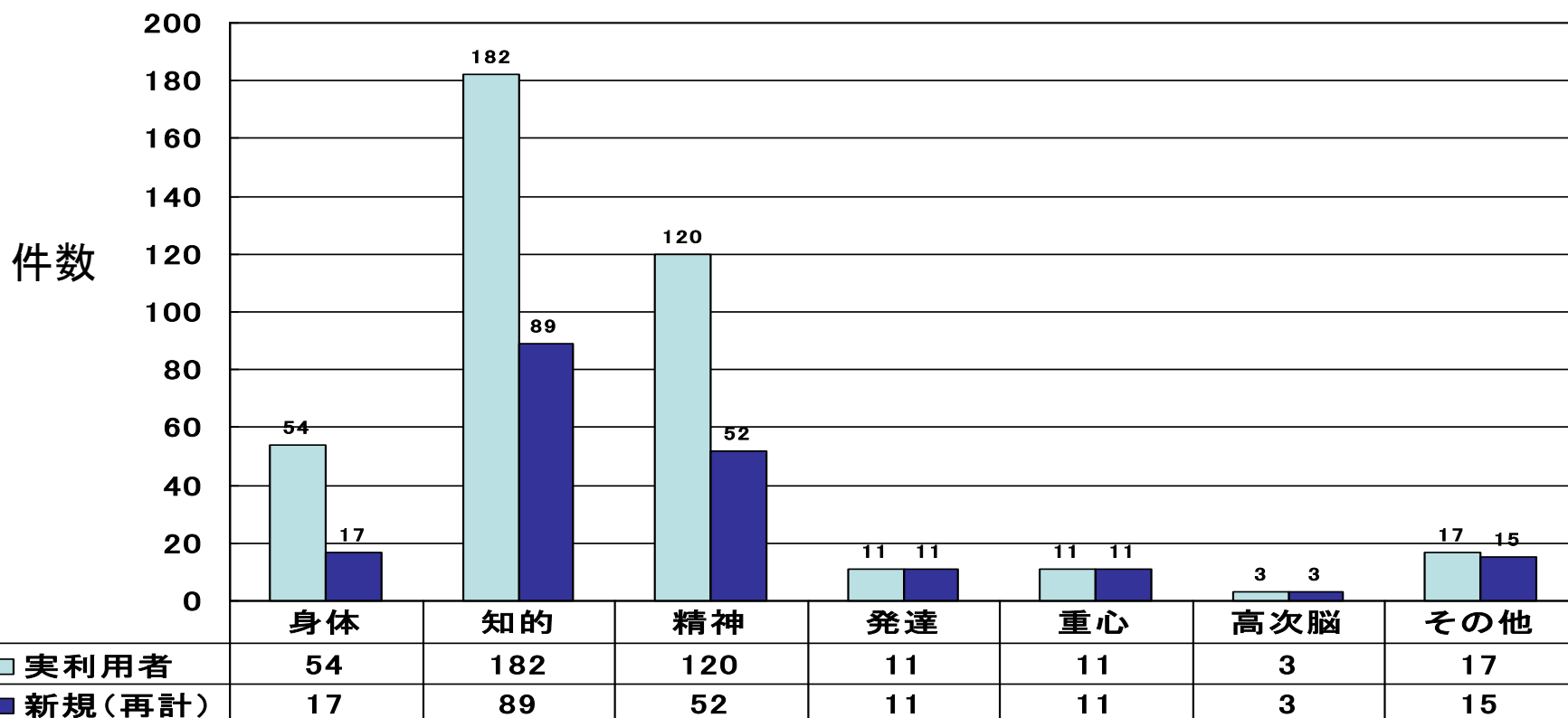
6 児・者の割合



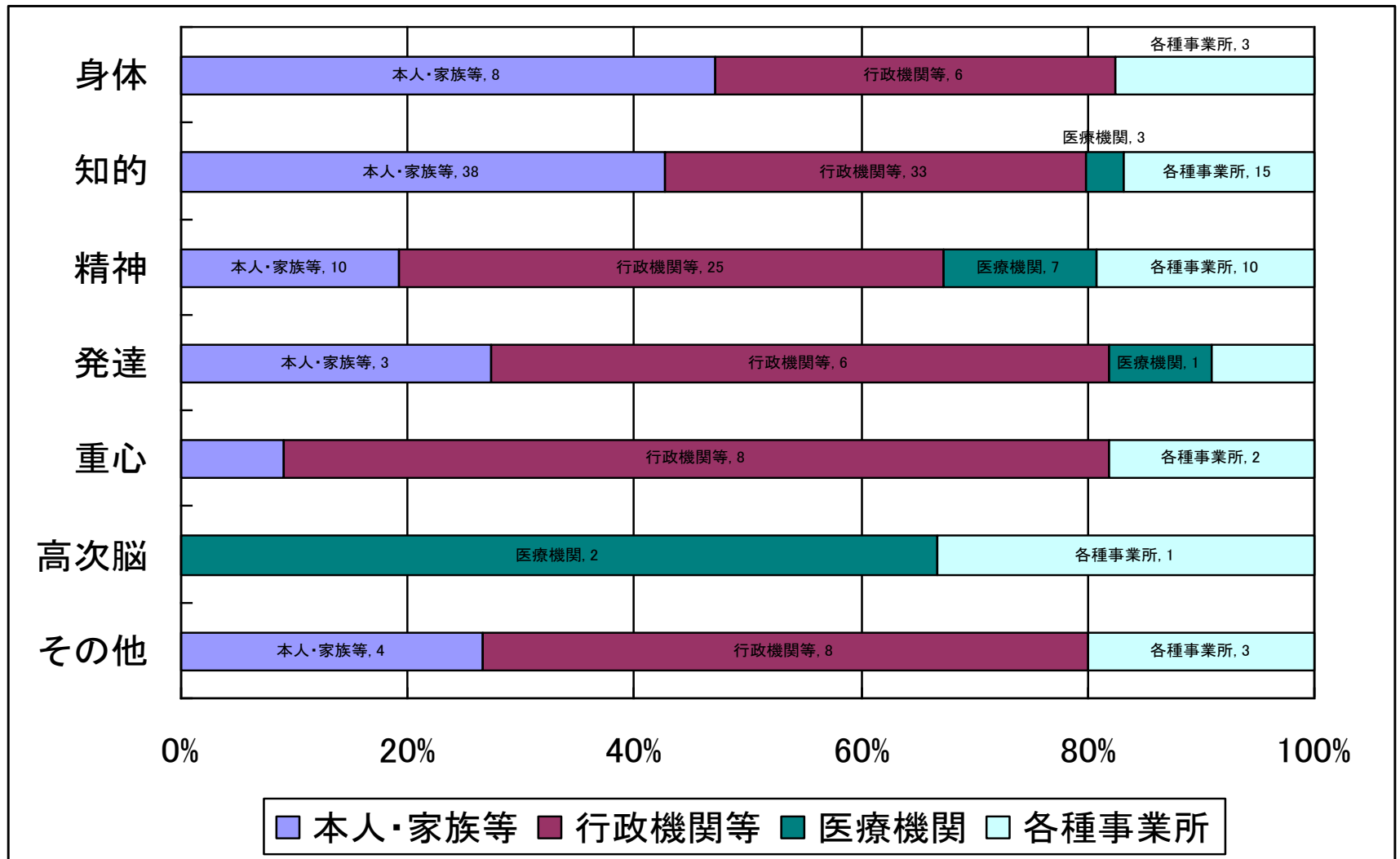
- 児童の割合が最も多いのは、発達障がいで82%の割合を占めています。
- 次に、重症心身障がいで67%の割合を占めています。

7 相談支援実利用者数

- 相談支援の実利用者数は、知的障がい、精神障がい、身体障がいの順に多い傾向にあります。
- H21の新規実相談者も、同様の傾向にあります。
- 相談支援実利用者が最も多い知的障がいは、全体の46%を占めています。
- 発達障がい、重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他は、全体の11%で相談支援実利用者は少ない状況にあります。



8 新規相談者の傾向



種別	人数									
	本人・家族等		行政機関等				医療機関	各種事業所		
	本人	家族又は親族	行政機関	教育機関	ハローワーク	民生委員		障がい福祉サービス事業所	就業・生活支援センター	障害者地域生活支援センター
身体	4	4	5	1				2	1	
知的	2	36	17	16			3	14	1	
精神	3	7	24			1	7	6	3	1
発達		3	1	5			1	1		
重心		1	3	5				2		
高次脳							2		1	
その他	2	2	8					2	1	
小計	11	53	58	27	0	1	13	27	7	1
合計	64		86				13	35		

- 初期相談者は全体では、行政機関等、本人・家族等、各種事業所、医療機関の順で多い傾向にあります。
- 初期相談者で一番多い行政機関等では、知的障がい、精神障がい、全体の67%を占めています。
- 本人・家族等が初期相談者の場合は、本人に比べ、家族又は親族による相談が82%を占めています。
- 各種事業所が初期相談者の場合は、障がい福祉サービス事業所が79%を占めています。
- 医療機関が相談者の場合は、精神障がい、58%を占めています。

※ 本集計は、相談支援事業所が、最初の相談を受けた相手を集計してあります。